

慈明院寺報七月号

お施餓鬼法会



お施餓鬼とは、餓鬼道なる苦しみの世界に落ちた存在を、布施の修行として食物や読経を捧げて供養する僧侶の修行である。お施餓鬼の修行は今でも

高野山では毎日行われている。供養しているのは、高野山でお坊さんの修行をしている修行僧たちである。高野山の施餓鬼には三つの約束事がある。

ひとつ、施餓鬼は夜の就寝前に行う。これは餓鬼という存在は、とても弱いモノで日の光を浴びる事ができないそうだ。餓鬼がお供えした食物にありつけるように、日が落ちてから供養を行うのである。

二つ、数珠を使つて拝まない。これも餓鬼が数珠を摺る音にビックリして逃げていかないように配慮しての事だそうだ。だから私語も厳禁である。

三つ、本堂の仏様がおられる内陣で拝まない。これも本尊様をはじめとする仏様がおられる本堂は聖域である。仏様の力が強くて、餓鬼は本堂の中にいる事ができないのである。だから高野山では施餓鬼を廊下や縁側で行う。

住職のひとりごと

今年も来る七月二十七日、当院でも僧侶の方々に

お集まり頂き、施餓鬼供養を勤める。本堂の窓から外に向かって施餓鬼壇という祭壇を組み供養を行う。

餓鬼とは飢えているから餓鬼のではない、食るから餓鬼なのでもない。「自分が持っているもので満足できない存在」が餓鬼なのである。施し（布施）の修行を通して足る事を知り、自分の心と向き合う。

住職 合掌



*紙灯籠に亡くなつた仏様の戒名や、先祖供養を謹書して灯籠に火を点し夕闇の中、数人の僧侶で読経してご供養を勤めます。どなたでもご参拝頂けます。

*ご供養をお申し込み頂いた紙灯籠は、お盆（八月十五日）まで本堂に安置してご供養致します。またお盆の灯りとしてお持ち帰り頂いても構いません。法会終了後、希望される方は灯籠をお渡しします。

お盆のおまいりについて

各檀家様には、七月中旬に「お盆まいりのお知らせ」をお送りさせて頂きます。お忙しい時期とは存じますが、宜しくお願ひ申し上げます。

隨時、お参りについてのお問い合わせ、変更等承ります。



お施餓鬼 灯籠供養法会のご案内

（別紙参照）

来る令和六年 七月二十七日（土曜日）夕方七時より

慈明院（〒八一一一三一 福岡市早良区大字西二三四一一二〇）
TEL（〇九二）八〇四一四五七〇 FAX（〇九二）八〇四一四六〇五
住職・吉住大慈 携帯電話〇九〇一（五二八一）一七四九四